

第 10 回腸内細菌学会のご案内

- 日本ビフィズス菌センター (JBF) 設立 25 周年記念大会 -
メインテーマ: 腸内フローラ研究のさらなる発展をめざして

日 時 平成 18 年 6 月 1 日 (木)・2 日 (金)
会 場 北里大学薬学部「薬学部コンベンションホール」
東京都港区白金台 5-9-1 TEL:03-5791-6256 (微生物学教室内)
会 長 檀原 宏文 (北里大学薬学部)
参加費 会員 7,000 円 一般 8,000 円 学生 2,000 円
(予稿集会員無料配布、当日別売 1,000 円)
主 催 財団法人 日本ビフィズス菌センター
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12
TEL:03-5319-2669 FAX:03-5978-4068
ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbf/>

学会スケジュール

<6月1日(木)9:00~17:40>

開会の辞

一般演題発表 (9:10~14:30)

2005 年度 JBF 研究奨励賞受賞講演 (14:40~15:30)

鎌田信彦 (慶応義塾大学医学部消化器内科)

「腸管マクロファージの分化異常が腸内細菌に対する過剰な免疫反応を引き起こす」

福島洋一 (ネスレジャパンマニュファクチャリング株式会社)

「プロバイオティクスと宿主の生体防御機能に関する研究」

JBF 設立 25 周年記念式典 (15:50~16:40)

JBF 設立 25 周年記念講演 (16:50~17:40)

石坂公成先生 (ラホイアアレルギー免疫研究所名誉所長, 日本学士院会員)

「研究者と自然科学を支えるもの」

参加者懇親会 (17:50~19:30) 参加費:2,000 円 場所:北里本館

<6月2日(金)9:30~16:50>

特別講演 1 (9:30~10:20)

Elaine E. Vaughan (Wageningen University, Unilever R&D)

『Diversity, Vitality and Activities of Intestinal Lactic Acid Bacteria
and Bifidobacteria Assessed by Molecular Approachs』

シンポジウム 1 (10:30~12:30)

テーマ「腸内フローラ解析の最前線 各種解析法の特徴と可能性」

1. 「はじめに - これまでの流れ」 伊藤喜久治 (東京大学大学院)
2. 「ヒト腸内フローラの解析: 培養法と定量的 PCR 法の比較」 田中隆一郎 (ヤクルト本社中央研究所)
3. 「各種分子生物学的手法による乳幼児腸内細菌叢の解析」 中山二郎 (九州大学大学院農学研究院)・他
4. 「腸内フローラのメタゲノム解析」 服部正平 (北里大学北里生命科学研究所、理化学研究所 GSC)
5. 「まとめ (総合討論) - 今後の方向性」

特別講演 2 (13:30~14:20)

Naohiro Inohara (University of Michigan Medical School, Department of Pathology)

『Innate and Acquired Immune Responses Mediated by Nod proteins』

シンポジウム 2 (14:40~16:40)

テーマ「過敏性腸症候群 (IBS) とプロバイオティクス」

1. 「IBS 関連プロバイオティクスの特化の展望」 梶本修身 (総合医科学研究所, 大阪外国語大学)
2. 「IBS の臨床」 川野 淳 (大阪大学大学院)
3. 「ストレスと腸内環境からみた過敏性腸症候群の病態生理」 六反一仁 (徳島大学大学院)
4. 「過敏性大腸症候群 (IBS) と腸内細菌叢」 福田能啓 (兵庫医科大学)

閉会の辞

会場へのアクセス

【渋谷駅】 東口下車 都バス「田 87」系統 田町駅行 15 分 北里研究所前下車

【広尾駅（地下鉄日比谷線）】天現寺橋方面（出口 1，2 番）下車 徒歩 10 分

【恵比寿駅（JR・地下鉄日比谷線）】東口下車 徒歩 15 分または都バス「田 87」系統
田町駅行 7 分 北里研究所前下車

【田町駅（JR），三田駅（都営地下鉄浅草線・三田線）】三田口下車 都バス「田 87」系統
渋谷駅行 15 分 北里研究所前下車

【白金高輪駅（地下鉄南北線・三田線）】恵比寿方面下車徒歩 10 分